

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2520



S

月信
Vol.13
最終号

2021
7
JULY

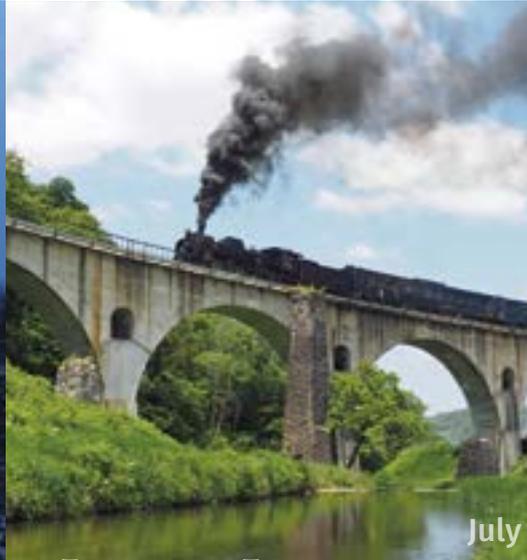
February

August

April



January



July



September

mental skecth July 2020 - June 2021



June



November



March



December



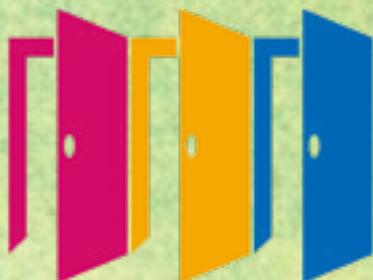
October



May

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2020-2021RI テーマ



Rotary Opens Opportunities

ロータリーは機会の扉を開く

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

CONTENTS

この一年で学んだこと3

国際ロータリー第2520地区
2020-2021年度ガバナー
伊藤 智仁

REPORT

「日本のロータリー100周年を祝う会」報告5

パストガバナー
皆川 清 (岩出山 RC)

盛岡滝ノ沢ロータリークラブ創立20周年記念式典6

盛岡滝ノ沢ロータリークラブ 会長
守屋 和彦

ロータリー財団

第2520地区 2020-2021年度DDF使用状況7

奨学生レポート

2020-2021-2022年度

ロータリー財団グローバル補助金奨学生 渡邊 英理奈6

2020-2021-2022-2023年度

ロータリー財団グローバル補助金奨学生 工藤 敬7

ガバナー補佐挨拶 ～一年を振り返って～

第1分区 東井 千明・柴田 茂8

第2分区 佐藤 博文・高橋 悦彌9

第3分区 小野寺知之・熊谷 雅也10

第4分区 丸木 久忠・阿部 幸榮11

第5分区 櫻谷 隆・鈴木 岳美12

第6分区 情野 進・伊藤 新一13

第7分区 増子 良一・佐々木宏明14

第8分区 横山 博昭・井上 庸一15

伊藤ガバナー年度を振り返って16

2020-2021年度地区代表幹事

菊池 忠彦

幹事団17

照井 敬孝、照井 正樹、吉田 和洋、高橋 年徳

嶋 利幸、佐々木繁樹、渡辺 正乃

新入会員紹介／退会会員報告／寄付報告18

第2520地区 2020-2021年度クラブ別会員数19

新クラブ設立のお知らせ／編集後記19



この一年で学んだこと

国際ロータリー第2520地区

2020-2021年度 ガバナー

伊藤 智仁

Norihito Ito

6月末日をもってガバナーの任期を終えました。コロナ禍でフットワークを伴った活動は出来ませんでしたが、ロータリーを見つめ直す良い機会だったと思います。幸いホルガー・クナーケRI会長は、ロータリーの意義深さや面白さを自ら感じてこそ、公共イメージの改善や会員拡大に発展するといった考えの持ち主でした。私もこのことに共感し、公式訪問の際にロータリーの魅力とロータリアンの役目について語ってまいりました。人間社会は「人」によって構成されていますが、一人一人が自分の役目に充実感を得なければ、幸せな社会は訪れません。我が郷土・花巻の偉人、宮沢賢治は「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という言葉を残しています。その通りだと思います。しかし、世界全体を幸福にしようとする人は誰でしょうか？皆等しく貢献すれば達成できるでしょうが、このハードルは非常に高いと思います。また、多くの人は金がモノをいうという社会観を持っています。現実にお金が無ければ明日の生活はままなりません。その結果、今度は、持つべき者が持たざる者を支援して当然であると考えようになりました。歴史にあるように、多数の犠牲のもとに一握りの者が富を得てきたのも事実です。しかし、富の集中を問題視して、富める者が社会を支援すべきというのはどこか矛盾を感じます。ところが、お金中心の話を、職業（仕事）と置き換えると様子はかなり変わってきます。「ロータリーの目的」の前文に記されている通り、社会の基礎である職業が、その役目を有効に発揮すれば社会は幸せになるのです。現代社会とて、衣食住はもとより車も家電も通信もあらゆるものが過去と比較できないほどの快適さをもたらし、幸せの水準は明らかに上昇していると思います。ポール・

ハリスは、職業の価値追求こそ社会平和の原点と考えたと思われます。ただし、そのアプローチは、「皆で協力して頑張りましょう」方式では無く、「力の発揮できる人になれるよう仲間を集めて研鑽しよう」という考え方です。研鑽の成果は、仲間の多さと勤勉さに比例することを思えば、会員拡大や出席率が重視されてきた意味も理解できます。職業を磨くほどに世間からは喜ばれる。喜ばれるほどにお金も貯まる。お金が貯まるほどに充実した人生を送ることが出来る。そんな憧れの団体であれば仲間も増える。ただし、競合相手の同業者と一緒にこの循環を回すことは難しい。良く出来た仕組みです。

この度のコロナ禍でコミュニケーションの在り方も様変わりしました。先般のバーチャル国際大会で話しておりましたが、ホルガー・クナーケRI会長もシカゴ本部に一度も足を運ばなかったそうです。しかしながら、会長はこれまで以上にネットを活用したコミュニケーションで世界中の仲間と触れ合いが出来、コロナがプラスに働いたケースだと話しています。「災い転じて福となす」といいますが、これを超越した環境適応能力の高さを感じました。因みに会長は、自宅のキッチンから奥様と一緒に出演でした。



一方、バーチャル国際大会は、観光という楽しみがないので言語に壁があると参加意欲が激減すると思います。私もその一人ですが、\$49の費用で勉強できると思うと違った形で意欲も出ます。

さて、一つ印象に残った本会議の話題を紹介します。スウェーデン・ギャップマインダー財団創設者の一人、アンナ・ロスリング・ロンランドさんの話です。彼女は、地域や企業や学校で「データに基づく真実」を伝える活動をしています。巷の噂や断片的なニュースによる解釈で誤った行動すると決して社会を良く出来ないという思いからの活動です。話は、「18の質問による調査結果」の紹介です（下図）。

本会議でも下記の5問の紹介でした。思い込みによるズレは如何ほどあったでしょうか。見識あるはずのロータリアンの正解とて結果は4.3問(18問中)です。日頃から、より衝撃的な映像やデータを発信するメディア報道の影響です。勿論、ニュースとて関心を高める工夫をすることは否定できません。よって、真実の報道を願うより、情報を鵜呑みにせずに考察する能力が大切です。アンナさんの活動は、人々が誤った判断をしないよう、こうした真のデータ提供をすることです。話題を印象付ける為、冗談を込め同じ質問をチンパンジーで調査したら正解は6問だったそうです。人間より9%も良い結果がでました。当たり前です。先入観無し3択は必ず1/3の



正解になるのです。

長々と紹介しましたが、私が伝えたいのは、大会の様子や話題の伝言ではありません。アンナさんの事例に、奉仕活動を探すヒントがあること、そして、ロータリアンは、専門家として職業情報を正しく広報する務めがあるということです。公式訪問で伝えてきたクラブ奉仕や職業奉仕の在り方が国際大会にも登場したので安心しております。

コロナ禍の一年ではありましたが、私と違う経験を持つ皆様から様々なことをご教授いただきました。人生はまだまだ長いです。収穫した知識と体験を活かし、知恵を駆使して、ロータリーを舞台にした社会を幸せにする奉仕活動に励む所存です。

この一年、月信でしか皆様に思いを伝えることが出来ませんでした。一緒になって考えて頂いた、ガバナー補佐並びにクラブ会長はじめ地区のロータリアンの皆様に感謝申し上げます。

18の質問による調査結果

質問	三択	ロータリアンによる回答(%)		正解
		世界	日本	
質問1 過去20年間における自殺率の推移	A 25%減少 B 変わらず C 25%増加	8 12 80	7 23 70	A 10万人当たり14人(1999年)→10人(2019年) 28%減少
質問2 1990年代世界人口の58%あった貧困率は現在どれくらい	A 9% B 37% C 61%	5 26 70	17 34 49	A 1日180円以下の生活者56%(1988年)→9%(2018年)
質問3 世界経済に占める農林水産業の割合	A 4% B 24% C 44%	10 44 46	22 54 24	A 4.0%
質問4 世界人口に対する難民の占める割合	A 0.4% B 4.4% C 14.4%	6 44 50	- - -	A 0.4%
質問5 世界における女性をトップに持つ企業	A 18% B 10% C 2%	9 24 67	20 33 47	A 18%

REPORT



「日本のロータリー 100周年を祝う会」報告

パストガバナー 皆川 清 (岩出山 RC)

去る5月25日開催の「日本のロータリー 100周年を祝う会」はコロナ禍の中、急遽オンライン配信の開催となりました。

千玄室元 RI 理事の講演で「『流水間断なし』、まさしく日本のロータリーは 100 年前に一粒の米山さんという方が努力されて、そして『しづくをお垂らし』になった。そういう過去のこともを私たちは、もう一度あらためて考え直さなければならないのではないか、ポール・ハリスによってアメリカで生まれこれほど世界中に広がってきたのは何故だろう、ロータリーの『Emblems』をつけながらそういう疑問を持つ、ロータリーの真の姿・価値観というものそういうものが本当にどこにあるのだろうか—ということが大きな一つの問題点ではないだろうか。」と、説かれました。

パネルディスカッション「日本のロータリー 100 年を振り返り、これからの日本のロータリーを想う」では、渡辺好政元 RI 理事からは次のことを披露されました。今は亡き、蔵並定男元 RI 理事から「決議 23-34 (社会奉仕に関する 1923 年の声明)」への熱き想いを渡辺 RI 理事と小沢一彦 RI 理事に託されたそうです。『君たち両名は、渾身の努力を重ねて、どんなかたちでもよいから、まずは、貴重な『決議 23-34』を手続要覧に残すように・・・』と— その結果、2008 年 RI 理事会にてこれまで通り「手続要覧」に掲載されることになったそうです。

以上、ご報告とさせていただきます。

日本のロータリー 100 周年を祝う会記念式典・祝賀会 次第

- プロローグ 日本のロータリー 100 周年ビデオ
- 開会点鐘
- 国歌演奏・ロータリーソング演奏
- 開会挨拶 辰野克彦 RI 理事
- ホルガー・クナーク RI 会長の祝辞 (ビデオ)
- 来賓祝辞 田中作次 元 RI 会長
- 東京 RC 会長祝辞 濱口道雄 東京 RC 会長
- 基調講演 千玄室 日本のロータリー 100 周年を祝う会実行委員会委員長
テーマ「果たしてロータリーは？ 過去・現在・未来」
- パネルディスカッション
「日本のロータリー 100 年を振り返り、これからの日本のロータリーを想う」
- 祝 舞 「三番三」 茂山千五郎様
- 閉会挨拶 黒田正宏 元 RI 理事
- 閉会点鐘

▶ 100 周年記念の鐘



日本のロータリー 100 周年 年表

1921 年	東京 RC 加盟認証
1923 年	大坂 RC 加盟認証
1925 年	名古屋 RC、神戸 RC、京都 RC 加盟認証
1940 年	日本の 48RC 脱退、地区を解散
1949 年	日本の RC が RI に復帰
1961 年	アジア発のロータリー国際大会を東京で開催
1968 年	東ヶ崎潔氏 (東京 RC) RI 会長就任
1978 年	日本で 2 回目の国際大会を東京で開催
1982 年	向笠廣次氏 (中津 RC) RI 会長就任
2004 年	大坂で国際大会を開催
2012 年	田中作次氏 (八潮 RC) RI 会長就任



▲ 100 周年記念バッジ



▲ 100 周年記念切手

REPORT

盛岡滝ノ沢ロータリークラブ創立20周年記念式典

盛岡滝ノ沢ロータリークラブ 会長 守屋 和彦



記念講演 西村秀一様

盛岡滝ノ沢ロータリークラブは本年、創立20周年を迎えることとなりました。

創立20周年記念式典を5月23日(日)ベルヴィ盛岡において、第2520地区ガバナー、滝沢市長

をはじめとするご来賓各位、ロータリークラブ関係各位、会員が相集い記念式典を挙行いたしました。

新型コロナウイルス感染症が流行しているため、残念ではありますが、宮城県の関係各位にはご案内を出さないという変則的な形での開催を決定いたしました。紙面をお借りして、宮城県在住の方々にお詫び申し上げます。また、蔓延防止の為、懇親会は執り行いませんでした。

記念講演を独立行政法人国立病院機構仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター長の西村秀一様

をお願いをし「正しく恐れる」の演題でコロナウイルス流行に関する講演を賜り、多くの出席者から賛辞を頂きました。

我がクラブは会員10名という少人数クラブではありますが、奉仕活動に邁進していきます。しかし、多くのご支援無しに責任を果たせるとは到底思えません。皆様方の確固たるご支援を願ってやみません。

我々はロータリーの伝統の中にありますが、伝統とは惰性としてあるものではなく、日頃の活動によ

って鍛えられ磨かれていくものだと思いません。我々も自らの参加によって新たな伝統を培ってまいります。



盛岡滝ノ沢 RC 記念写真

奨学生レポート

2020-2021-2022年度
ロータリー財団グローバル補助金奨学生

渡邊 英理奈

宮城県出身。コロンビア大学国際公共政策大学院で国際関係論を専攻。
ホスト地区：ニューヨーク/ホスト RC：Metro New York City

ついに2セメスター目の授業も終わり、大学院1年目が終わりました。毎日宿題や予習に追われていたせいで、あっという間の1年(実質半年ですが...)でした。

今学期の私の成績はまたもやまずまずといったところでした。良かった点は最も興味があり、力も入れていたジェンダーの授業でAを取ることができたことです。妊娠や出産、育児による男女不平等について考察する授業で、これまで民間企業で働いてきた経験も活かしながら授業で発言をしたり、期末試験のペーパーを書くことができました。日本はジェンダー平等の後進国であるということをまざまざと思い知らされた授業でもありました。

そして、やっと国連機関でのインターンが決まりました！6月から3か月間、世界銀行のDoing Businessユニットでお世話になることになりました。前回のレポートでご報告したように、今年は特にインターンを見つけるのが大変で、夏休みが始まっている今もインターンを見つけられずにいる友人が多くいるので、私は本当に幸運だったと思います。私がお世話になるユニットやその仕事内容については次回のレポートで詳細はご報告致します。



国連研究 - 副専攻メンバー (筆者：後列右から二人目)

REPORT

ロータリー財団 第 2520 地区 2020-2021 年度 DDF 使用状況

DDF (地区財団活動資金) : District Designated Fund

3年前の地区の年次寄付の50%がDDFとして地区の財団活動資金(人道、奨学金ほか)として使用できます。
 なお、2021年7月以降の寄付(2024-25 シェア)からDDFの配分は47.5%となります。

単位:ドル

項 目	入	出	残
DDF (2017-18 年度寄付の 50%)	81,840.24		
恒久基金の使用可能な収益の 50%	6,637.26		
前年度 (2019-20 年度) 分繰越し	204,558.31		
19-20 DDF 使用調整分として	46,013.76		
DG 2198546 未使用分返金 (次年度 2021-2022 年度へ繰り越し)	528.76		339,578.33
寄贈: ポリオプラス基金		16,500.00	
寄贈: ポリオプラス基金		10,000.00	
DG 2198546 (21 プロジェクト)		72,854.00	
GG 2013487 (多地区合同フェイスシールド海外寄贈計画 / D.2520 は D.4590 ペルーへ)		15,000.00	
GG 2016496 (奨学金 渡邊 英理奈 / アメリカ、コロンビア大学大学院)		40,000.00	
GG 2097325 (ソゲリ地区 水と衛生プロジェクト / スポンサー: 仙台 RC、D.2520)		40,000.00	
GG 2121640 (奨学金 工藤敬 / アメリカ、米国国立衛生研究所)		20,000.00	
GG 2123015 (多地区合同フェイスシールド海外寄贈 / D.2520 は D.3410 インドネシアへ)		13,500.00	
GG 2126933 (奨学金 米澤出 / イギリス、ロンドン大学衛生熱帯医学大学院)		20,000.00	
DDF 残 (次年度 2021-2022 年度へ繰り越し)			91,724.33

* **DG**: 地区補助金 * **GG**: グローバル補助金

奨 学 生 レ ポ ー ト

2020-2021-2022-2023年度
 ロータリー財団グローバル補助金奨学生

く どう けい
工 藤 敬

岩手県出身。アメリカ国立衛生研究所で卵巣癌における新規治療戦略を研究。ホスト地区 第7620地区(アメリカ・メリーランド州) / ホストRC Metro Bethesda RC

皆様、ご無沙汰しております。米国 NIH (National Institute of Health) の研究室デスクで、実験の合間にちょこちょここの原稿を書かせて頂いております。2021年2月中旬に渡米し早いもので約4か月が経過致しました。家族3人でワシントンDC近郊のNorth Bethesdaに転居し、生活・研究も徐々に落ち着いてきております。

少し研究関連の話をごさせて頂きますと、卵巣癌の新規



治療となり得るような薬剤の組み合わせを模索する、というのが私の研究テーマです。これまで経験したことのない実験に触れる機

会が多数ありますが、同じラボメンバーから楽しみながら教わっている日々です。英語ができない日本人に実験内容を教えるのは骨が折れると思いますが、私の拙い英語にも嫌な顔せず、優しく丁寧に教えてくれます。まだ始まったばかりですので、何かを成し遂げたわけではありませんが、卵巣癌患者の予後を改善するような新たな薬剤の組み合わせを見出し、メカニズムを解明して臨床試験までつなげることを目標に、何とかへこたれずに邁進していく所存です。

もうすぐ2歳になる息子にもアメリカの広大な自然は合っているようで、「キヤー!!」と叫びながらどこへでもどこまでも走って行ってしまいます。今年の夏休みはフロリダのディズニーワールドに行く予定であり、この数か月で彼をミッキー好きになるように洗脳すべく画策中です。せっかくこのような貴重な機会を頂いておりますので、一生記憶に残るような経験を山ほどさせていただけようかと思います。



ガバナー補佐挨拶 ～一年を振り返って～



第1分区

第1分区ガバナー補佐

東井 千明
(種市 RC)

「コロナ禍」の中、すべての活動、計画が振り回された一年でありました。各クラブにおかれましては、例会も普段とは違い、思うように会長さん・幹事さんのお考えが、伝わり難い状況にあった事と拝察いたします。

しかし、「様々に工夫を凝らして、例会を実施したり、飲酒を伴う夜間例会を止めて、昼の例会のようにした。また、間隔を広く開けて席を設ける等の会場の協力を得て、何とか例会を実施した」というお話を聞き、各クラブ、各会員の熱い思いを伺うことができまして、少し安堵いたしました。

更には、「オンライン」にての R L I 研修会の開催など、「オンライン」時代に応じた対策を早めに講じられたことは、大変良かったと思います。従来の会議の様式はすっかり変わり、その進行役をする中で感じたことは、各発言者の「お考え」を同時に多数の方々が、きちんとお聴きして、共有することができたということです。「コロナ禍」にあっても人と人との「つながり」を重視した良い一つの方法になったと思います。

先般、行われました盛岡滝ノ沢 RC 様「創立 20 周年記念式典」のご講演、仙台医療センター・ウイルスセンター長、西村先生のお話しの通り、「～インフルエンザ程度のものだと受け止め……これまでの日常を取り戻すことをしていかななくてはなりません」ということだそうです。皆さん、コロナに負けず、頑張りましょう。ありがとうございました。

※参考文献：新型コロナ「正しく恐れる」
西村秀一著（藤原書店）



第1分区

第1分区ガバナー補佐

柴田 茂
(盛岡東 RC)

ガバナー補佐としての一年間を振り返り、国際ロータリー第 2520 地区ガバナー伊藤智仁様、盛岡市内 8 クラブの会長・幹事様、各クラブ会員の皆様にガバナー補佐という貴重な経験をさせて頂きました事に心から感謝を申し上げます。

コロナ禍の中ではありましたが、伊藤ガバナーと盛岡市内 8 クラブの皆様との橋渡し役を務めさせて頂きました。ガバナーのメッセージやお考えをガバナー補佐訪問の時、そして会長・幹事会の時に皆様方に精一杯お伝えをさせて頂きました。ガバナー公式訪問の前にガバナー補佐訪問をしました時には市内 8 クラブの皆様には大変温かく迎え入れて頂き、お陰様でガバナー公式訪問の時の会長・幹事懇談会そして例会と何とか皆様のお蔭さまを持ちまして無事終了することが出来ました。伊藤ガバナーにもご指導を頂きました事に心から感謝を申し上げます。

また、R L I 研修ではファシリテーターを務めました。研修前にファシリテーターの勉強会が 2 回行われ、ファシリテーターの役割や進め方について学びました。ロータリーについて集中して学び、考える時間を取れたことは大変有意義でした。R L I 研修はパート I、II、III とオンライン開催でした。対面方式とは勝手が異なり戸惑う事もご御座いましたが、開催場所までの移動時間もかかりませんし、どのような状況でも対応していけると言う事がわかり素晴らしい経験になりました。

コロナ感染症がなかなか収束しませんので、しばらくは対面での大きな会議の開催は難しいように思います。Zoom 会議など IT ツールを活用して、今後も積極的にロータリー活動に励みたいと思います。

一年間ガバナー補佐として大変お世話になりました。

第2分区



第2分区ガバナー補佐

佐藤 博文
(北上 RC)

ガバナー補佐は、IM は、如何にあるべきなのかも分からず任につく事になりました。そして今迄体験した事の無いこのコロナ禍の中でこれらの行事が制限される環境下で、ロータリーの活動はどうあるべきなのか。先輩のご意見も頂戴いたしましたが、これらについては意見の分かれるところが有り、ある意味やむを得ないと感じた一年でもございました。又ロータリーの友情という言葉が有りますが、この言葉に疑問を感じ、悩んだ一年でもありました。

しかし、私にとりまして良き一年となった事も事実であります。特にガバナー補佐公式訪問におきましては、クラブの会長様をはじめ皆様からの歓迎を受け勉強をさせて頂きました。訪問させていただいた各クラブの活動報告は、目を見はるもので独自の活動がありそれを熱心に組まれる姿勢を拝見しますと、敬服するばかりでした。

又インターシティミーティングも、当分区としては初めての Web 開催が花巻 RC を中心とした 3 クラブのご協力により無事開催する事ができました。伊藤ガバナーにも満足頂けた様であります。しかし、これも Web の落とし穴という事になるのでしょうか、IM を一旦中止と決めた北上 3 クラブのその理由をうまく私が花巻の担当者に伝えられず、結果今回の IM に素晴らしい講師を選んで頂き内容も良かった様でした（IM 報告書を読んだ結果）が、Web の主会場以外では講演の内容が聞き取れない北上会場等があったという結果は、私の責任として分区の皆様にお詫びを申し上げなければなりません。次回 Web 開催にはこれを生かして頂くようお願い申し上げます。いずれにしても多くのロータリアンの協力を得て無事終える事が出来ました事に、感謝を申し上げます。

第2分区



第2分区ガバナー補佐

高橋 悦彌
(水沢東 RC)

1. 今年度はコロナウィルス感染対策の為、各クラブともクラブ運営には非常に気を遣い大変だったことと存じます。ガバナー公式訪問は、各クラブとも通常通り対処することができましたが、その他については、例会を簡素化したり、Zoom 例会にしたり、ロータリー活動も自粛せざるをえず、苦慮されておりました。私自身もガバナー補佐として各クラブを複数回訪問したくとも、躊躇してしまいました。

2. R L I 研修では、Zoom での参加が初めてだったため、ディスカッションリーダー (DL) として非常に不慣れな進行を行ってしまいました。限られた時間 (40 分) 内に 5~6 件の課題を、5~6 人の方に発言してもらい、DL が発言内容をメモしながら、課題や参加者の順番を把握し、手際よく進めなければいけないのですが、課題や発言者の順番を飛ばしてしまったり、とても一人ではやりきれず、要領よく準備をしないとイケなかったなあと自分なりに反省しております。このことは私自身のことであり、他のリーダーの方たちは皆さん大変すばらしく、感激いたしました。

3. 第2分区奥州地区行事として、ガバナー補佐杯チャリティゴルフ大会を立ち上げ、第1回大会をみちのく古都カントリークラブにて10月4日に開催いたしました。春には第2回大会を予定しておりましたが、コロナウィルスの為中止にいたしました。いずれは、ロータリー会員と一般市民とコラボしたチャリティゴルフ大会とし、協賛品を各クラブ会員より提供していただき、少なくとも参加者が100名以上の規模で開催し、チャリティ資金を活用して大きなボランティア事業を行いたいと思います。

ガバナー補佐挨拶 ～一年を振り返って～

第3分区



第3分区ガバナー補佐

小野寺知之

(一関中央 RC)

2020-2021 年度ガバナー補佐に就任して最初の活動は、ガバナー公式訪問前のガバナー補佐例会訪問です。担当の4クラブ（平泉、花泉、一関、一関中央）を訪問して感じたことは、当たり前のことですが、どのクラブもロータリーの精神を基に、しっかりとした例会進行で内容もそれぞれの特徴をもって進めており、とても参考になりました。

次の活動は、メインイベントのガバナー公式訪問です。プログラムの立案作成から参加者の確認、ガバナー事務所とのすり合わせ、会長・幹事会の内容の確認、そして、会場との打合せなどやることはいっぱいありました。伊藤ガバナーは、ホルガー・クナーク R I 会長の会員増強に対する考え方について、「数字を掲げた会員拡大は求めない。会員減少は世界中のクラブが直面し、止まらない現象が続いているが、会員拡大は数字を追うのは止めにし、ロータリーの魅力を大いにアピールしながら機動的な活動を求めたい。また、会費についても内容から精査すると決して高くはない。」と述べられました。ガバナーは和やかに各クラブの会員と交流をされ、公式訪問は無事終了しました。

R L I には初めて参加しましたが、パート I ～ III まで全てリモートでの参加でした。事前研修は何回もあり、ある程度理解をしてディスカッションリーダーとして参加しました。ロータリー歴3年くらいの受講者でもロータリーを理解しており、とても満足しておられたようです。私もとてもいい経験をさせていただきました。

3分区の I M は、実施にあたり、各クラブより意見を求めたところ、対面もリモートも無理があるという観点から、「コロナ禍のロータリー活動」の記録誌作成を I M の事業としました。

第3分区



第3分区ガバナー補佐

熊谷 雅也

(大船渡西 RC)

当初は「年3回のクラブ訪問」を目標に、1回目の訪問はガバナー公式訪問前に行こうとスケジュールを調整しましたが、第3分区は公式訪問が年度開始早々の上、担当クラブの例会曜日が重なるため叶わず、それでもコロナ禍の中8月の盆前には1回目の訪問を終えることができました。

問題は2回目の訪問のタイミングでした。盆過ぎから年末・年始にかけて各クラブとも休会状態が続き、県をまたぐ移動もはばかれる状態のなか、宮城県に2つ、岩手県に4つのクラブを担当する私は全く身動きのできない状態となりました。

そんな中、R L I の研修はパート I からパート III まで計5回の研修が ZOOM で行われ、ガバナー補佐としてディスカッションリーダーを経験させていただいたことは貴重な体験となりました。

年明け4月頃には各クラブとも例会を再開し始め2回目の例会訪問を開始しました。

訪問を再開して最初の例会は気仙沼南 RC でした。この例会で久しぶりにロータリーソングを会員皆で歌ったのですが、この時の気持ちはとても晴れやかで、ロータリーソングを皆で歌うことがこんなにも清々しいものかと感動いたしました。

食事の時間は飛沫感染防止のパネルで仕切られていたものの対面での食事で、これもしばらくぶりのことでした。同じ会場に集い、声を合わせて皆で歌い、食事を共にするという、これまでも営々と続けられてきたロータリーの例会ですが、実はこれこそ人と人が心を開き「仲間」になって行くための大切なことなのだ改めて気づかされた例会でした。

会員同士で「仲間」の意識を持てるクラブづくりこそロータリーの基本ではないかと、この1年間のガバナー補佐の経験から学ばせていただきました。

第4分区



第4分区ガバナー補佐

丸木 久忠
(釜石 RC)

令和3年5月13日午後12時30分から、ホテルサンルート釜石で釜石東ロータリークラブの創立57周年記念式典が行われました。釜石・遠野・大槌の第4分区では本年度唯一開催された創立記念例会でした。他のクラブは招かず来賓としては私がガバナー補佐として招待されただけの、コロナ下で徹底した感染防止策を講じ、規模も縮小されていながらも立派な式典でした。かように本年度のロータリー活動は新型コロナウイルスの感染蔓延という異常な環境下で、例年通りの活動やイベントが制約または中止に追い込まれた一年でした。2520地区全体はもとより各クラブ個々におかれても然りでした。

入会以来初めてのガバナー補佐をお受けしましたが、コロナ感染の広がりの影響を受けて、本来ガバナー補佐として果たすべき役割も果たせないまま終わろうとしている一年でありました。年度当初の花巻での顔合わせ会、盛岡で開催の昨年度のガバナー補佐との引継ぎ会が全体で集まった最後でした。

各種の研修会の案内がありましたが、県境を越えてはならないことがあったり、自宅でパソコンの操作が未熟なためオンライン参加できなかつたりして、とても参加出席の足りない劣等生であったことを反省しております。

しかし、嬉しかったこともありました。それは次期ガバナー補佐の推薦をしなければならなかった時に、順番では少人数の大槌 RC でしたが、釜石東 RC が事情を理解していただき新里進さんの推薦を決めていただいたことです。ロータリークラブの仲間の友情に感謝します。

いたらぬ補佐でありましたが、コロナの早い収束と地区の益々の発展をお祈りいたします。ありがとうございました。

第4分区



第4分区ガバナー補佐

阿部 幸榮
(山田 RC)

2020-2021年度のガバナー補佐を拝命し、早くも1年が過ぎ去ってしまいました。その間、地区大会や協議会等主要な行事は全て中止となり、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年だったと思います。

それでも、担当クラブをガバナー公式訪問を含めて各々3回は訪問させていただき、クラブの実情を少しは把握できましたが、IMや親睦懇親会等が開催できず、残念な思いです。

ガバナー公式訪問は、7月10日、宮古・宮古東・山田クラブの3クラブ合同で行われました。年度開始早々という事もあり、どのクラブも「仮活動計画書」の提出となりましたが、各会長さんは、どなたもそれぞれクラブの計画や実情、特徴等を具体的に説明され、伊藤ガバナーも十分ご理解されたと思います。

又、ガバナーは3クラブ会員に対し、RIテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」について、実情、実践を例にあげ具体的に解りやすく説明され、会員に感銘を与えていただきました。大変有意義な公式訪問でした。

そして、私自身は、唯一貢献できたのはRLIのDL（ディスカッションリーダー）としてZoom会議に3回参加できたことだと思います。私自身も、DLを務める事で、ロータリーを改めて勉強することになり、ロータリーに対して理解と認識を深める大変有意義な機会になりました。又、会議そのものも、対面式がベストなのでしょうが、Zoom形式でも十分その成果を上げる事を証明したと思います。ただ会員さんによってはZoom環境が整わない方もおられますので、今後Zoom環境の整備が必要になります。

ガバナーや分区内クラブの皆様には十分な活動ができず、申し訳ございませんでしたが、大禍無く1年を過ごさせていただき誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

ガバナー補佐挨拶 ～一年を振り返って～



第5分区

第5分区ガバナー補佐

櫻谷 隆
(石巻南 RC)

2020年7月1日より森山行輝ガバナー補佐(石巻東RC)から第5分区ガバナー補佐を引継ぎ、スタートいたしました。

第5分区は、石巻東RC、石巻西RC、石巻南RCの3クラブからなる分区です。

委嘱を受けてから事前会議やRLI勉強会に参加し、伊藤ガバナーからRI会長のメッセージ、報告や方針などを聞き、多岐に亘り、ガバナー補佐としての役割を自分なりに認識し、活動することに専念いたしました。

今思うと、自分がロータリーについて一番勉強させられましたし、ロータリーについて認識がさらに深まりました。また、各分区のガバナー補佐の方々と勉強会や懇親会を通じて絆も深く築くこともできましたし、ガバナー補佐の役割は、伊藤ガバナーの方針や考えを皆様に伝えることや、皆様の声をガバナーに届けることが大切な事だと肝に銘じ活動いたしました。

各クラブを2～3回訪問いたしますと、クラブの特徴がいろいろとわかってきます。例会の方式、構成人員の人となりとか、大変興味深いものがありました。今まで知りえなかった方々と訪問したことにより、より知りえたことが大変良かったと思っています。

この一年間コロナ禍により、地区大会、諸行事、例会も中止せざるを得ない時もありましたが、伊藤ガバナー、分区内の会長さんをはじめ多くのロータリアンとの出会いの中で気づきや学びがあり、大変勉強させていただきました。

伊藤ガバナーをはじめ関係各位のご指導に感謝申し上げます。



第5分区

第5分区ガバナー補佐

鈴木 岳美
(栗駒 RC)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会が中止となり、この先どうなるのだろうかという不安な中、昨年7月、ガバナー補佐の任期がスタートしました。

まず取り組んだのが、ガバナー公式訪問に向けての対応でした。新型コロナの感染拡大により、公式訪問の日程が当初の計画より早めに行うことになり、区内4クラブの内、佐沼クラブが単独で、築館、若柳、栗駒の3クラブは合同で実施することになりました。3クラブの合同例会は、新型コロナの感染拡大防止のため、1クラブからの出席者を5名以内に制限させていただき、多くの会員の参加の機会を奪ってしまい、申し訳ございませんでした。

その後の取り組みは、コロナの感染拡大のため、地区の会議等が軒並み中止、またはリモートでの開催となりました。また地区大会も開催時期を延期しましたが結局開催することができませんでした。

区内の会員の親睦交流の事業についても開催をすることはできませんでした。

この1年間は、ガバナー補佐として会員の皆様のお役に立てることがほとんどなく任期を過ぎてきてしまい、本当に申し訳ございませんでした。

ロータリーの活動も、これまで経験したことのない状況となってしまいましたが、1日も早く新型コロナが終息し、以前のような活動ができる日の来ることと、ロータリークラブが今後ますます発展していくことを願います。

第6分区



第6分区ガバナー補佐

情野 進
(加美 RC)

コロナ、コロナで1年が終わろうとしております。伊藤ガバナーをはじめ、幹事団の皆様も出鼻をくじかれ誠に不本意な1年であったかと拝察しておりますが、私もガバナー補佐としては何ほどの活動も出来ず誠に申し訳なく思っております。

しかしながら、一人のロータリアンとしては、このコロナ禍で否応なく考えさせられた例会や年次行事のあり方、不要・不急とは一体何か、何が不要で何が不急なのか、ロータリー創設の理念とは何だったのか、立ち止まって考える良い機会になったのではないかという気がしております。

100年程前ポール・ハリスが何を考え、何を思って、4人の仲間たちとロータリーを創設したか？決して変えてはならない事【理念・理想】と、おのずから変わるべき事、今年度初の取り組みであるリモートによるRLI開催では菅原パストガバナーや笹氣パストガバナー、他スタッフの皆様のご苦勞はいかばかりであったかと、感謝しておりますが、皆様の歩いた跡に道はできております。何ほどのことは出来ませんが、私も皆様の後ろ姿を見失わないように追いかけていきたいと思っております。

ガバナー補佐就任時にぜひとも取り組んでみたかった事業に、会員減少によるクラブ存続の一つの解としての年に複数回の分区内合同例会がありました。続くガバナー補佐にも御配慮頂ければ大変幸いです。

伊藤ガバナー、そして菊池代表幹事他幹事団の皆様、事務局の皆様、一年間大変ご苦勞様でした。ありがとうございました。

第6分区



第6分区ガバナー補佐

伊藤 新一
(大和 RC)

2020-2021年度第6分区松塩グループのガバナー補佐を務めさせて頂き、新型コロナで始まり、コロナウイルス流行の中で終わり、早いもので1年が過ぎようとしています。コロナの中、不安を抱えての7月スタートでした。

地区をはじめ、各クラブ、グループ全体の活動、行事等が休止や中止、そして、変更など模索をしながら活動の参加でした。特にガバナー公式訪問の際は、多くのご指導をいただきました。伊藤ガバナーには、感謝申し上げます。コロナ禍の中、公式訪問の際は各クラブの現状、今のクラブ状況の説明を行い、又、伊藤ガバナーからはRI会長「ロータリーは機会の扉を開く」のテーマ、メッセージを通しての意見を聞くことができました。

今回のコロナによりガバナー補佐として、計画行事の中止は延期などで少ない時間ではありましたが、うまくクラブに伝えられなかったことが多かったのではないかと思います。逆に多くのロータリアンに助けられたこと感謝しています。

一年間ガバナー補佐としての活動、伊藤ガバナー、分区内各クラブの会長さんをはじめ多くのロータリアンと会い、このような状況下、私自身大変勉強させられ、よい機会を頂きました。皆様一年間ありがとうございました。

ガバナー補佐挨拶 ～一年を振り返って～

第7分区



第7分区ガバナー補佐

増子 良一
(仙台冠 RC)

第7分区青葉ゾーンを1年間担当いたしました、仙台冠ロータリークラブ所属の増子です。この1年間を振り返ってみますとコロナに振り回され、急な例会の休会、来訪者のお断りなどがあり、何もしなかった、できなかったとの印象しかありません。各クラブの話聞きましてもそのような話を多く聞きました。

活動の制限があった中ですので、私が所属しております仙台冠ロータリークラブのことに触れたと思います。伊藤ガバナーが重点項目に挙げておられました、マイロータリーの登録ですが5月までに100%完了いたしました。それから、活動を重点分野への紐付けを行うということを考えて計画を立てるようになったということが我がクラブに起こりました。伊藤ガバナーが常に言っていたことが浸透してきているのだと感じました。

もう一つは、IMを苦勞をしながらも、このコロナ禍の中で開催することが出来たことです。これはひとえに、仙台青葉クラブ様の熱い思いがあったからだ感謝しております。人が集まりにくい状態であっても、このようなやり方をすれば開催することができるという前例が作れたのではないかと思います。

そんな中、クラブが解散、会員が減少するなどの相談を受けたりもしましたが、力になることができませんでした。悔いの残る1年になってしまいましたが、皆様の支援のお陰でなんとか任務を全うすることができましたことに感謝いたします。1年間ありがとうございました。

第7分区



第7分区ガバナー補佐

佐々木 宏明
(仙台北 RC)

昨年7月にガバナー補佐を拝命し、早くも1年が経過しました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、休会や行事の中止など活動が制限された1年でした。各クラブにおいては、感染防止対策等による多くの制約を受けながらの運営となったと思います。

さて、私は第7分区仙台広瀬ゾーンの6クラブを担当させていただきました。ガバナー公式訪問やクラブ協議会で各クラブを訪問させていただきましたが、それぞれの歴史や特色を実際に感じる事ができ、大変学びの多い時間でした。会長・幹事を始め、訪問に際しご尽力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

また、オンライン形式の会議が普及したことも、今年度の大きな変化だったと感じます。私も実際に、RLIにディスカッションリーダーとして参加しました。対面式とは印象が変わりますが、活発な議論を展開できたと思います。デジタル化が急速に進む現代において、大変意義深く、今後につながる大きな経験だったと感じました。伊藤ガバナーが年度始めに、コロナ禍における対策として「新たなことを始めるのではなく、今ある資源を活用し、もっと価値あるものへ変貌させる」とおっしゃっていましたが、このオンライン会議がまさにニューノーマルに対応した今後のロータリーのあり方だと思います。

環境の整備や感染防止対策などご苦勞もあったことと存じますが、こうした大変意義深い取り組みを実践して下さった伊藤ガバナーや菊池代表幹事を始め、皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

第8分区



第8分区ガバナー補佐

横山 博昭

(丸森 RC)

第8分区阿武隈ゾーン・ガバナー補佐を拝命し、年度予定を各クラブへ連絡している中、新型コロナウイルス拡大、更にはクラスターも発生し、年度予定も変更となりました。伊藤ガバナー、そして幹事団の皆様は大変苦労されたこととお察し致します。

しかし、コロナ禍の中ではありましたが、ガバナー公式訪問を実現しました。名取・岩沼・亘理・角田・丸森各 RC 会員にホルガー・クナーク RI 会長の「ロータリーは機会の扉を開く」のテーマ、「オポチュニティー」＝「良い機会を掴み取る」を自分の考えも交えて熱心に話すガバナーの姿に感動しました。名取 RC 訪問では全国のロータリアンの浄財で仙台空港に設置された「カリヨンの鐘」の音色を拝聴し、安寧と平和を願う心にふれて頂きました。岩沼 RC 訪問では、竹駒神社にて健康祈願をして頂きました。

丸森 RC は、一昨年 10 月の東日本台風豪雨により破壊された「弘法の噴水」「百位観音様」を第 2520 地区の支援金、丸森 RC の資金で復旧させ、その引き渡し式典にガバナーに出席頂いたことは、私にとって忘れることの出来ない思い出になりました。改めてロータリークラブ会員の皆様に御礼申し上げます。

私はロータリー歴も浅く、ガバナー補佐受諾を後悔しました。しかし、皆様の温かい歓迎、激励を受け、的確なご指導を頂き、何とか務めることができました。改めて皆様の友情に感謝致します。

新型コロナウイルスの感染に歯止めがかからず、ロータリー活動が制限される事態となり、大変悔しい思いでいっぱいあります。ガバナー補佐としての仕事も途中失速し満足いくものではありませんでした。しかしこの活動は誰も止めることは出来ません。これからも精進してまいります。ご指導のほど宜しくお願い致します。

第8分区



第8分区ガバナー補佐

井上 庸一

(白石北 RC)

私は志願し蔵王ゾーン担当のガバナー補佐に選んで頂き、かつ順番により IM を主催する栄に浴することになりました。IM 開催は新型コロナ禍による様々な制約がありますが、分区の皆様のご意見を頂き慎重に検討を進めたいと考えております。

このように人が集まる事が困難な環境下にあるからこそ、RLI の適期でもあるのでしょうか。2019 年 11 月に RLI を試す機会に恵まれ、あの「気付きを導き出す技術の妙」とでも言うべき話術の展開に興奮いたしました。「公共イメージと広報」の項で、「クラブがメディアや地域社会とプロジェクトを共有するために彼らと率直に心を通わせるような、3つないしは4つの方法に焦点を当ててください」との質問に対して、うちのクラブはプロジェクトを共有した経験がないので、「私は答えることができない」と思った途端に、思考が止まりました。しかし後でテキストを読み、「クラブが地域社会とメディアとを結びつける役目を担えるのではないか」という気付きに出会ったのです。

井上庸一ガバナー補佐は、現在療養中のため、年度当初の挨拶文を再掲いたします。



伊藤ガバナー年度を振り返って

国際ロータリー第 2520 地区
2020-2021 年度地区代表幹事

菊池 忠彦

2020年1月、伊藤智仁ガバナーエレクトは、アメリカ・サンディエゴでの国際協議会に出席。ホルガー・クナーク次期会長の「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマとする一連の研修を受け、ガバナー年度への熱い思いを抱いて帰国されました。中国武漢で新型コロナウイルスが発生したのは、丁度そのころでした。

2月16日、ガバナーエレクト年度がいよいよ本格始動。ガバナー補佐と地区役員を対象に「地区チーム研修セミナー」を花巻で開催。伊藤ガバナーエレクトから国際協議会の報告と地区方針の説明が行われました。しかしその後、新型コロナウイルスの国内での感染拡大により、4月の鈴木賢ガバナー年度「地区大会」の中止が決定。3月15日開催予定の伊藤年度の「会長エレクト研修セミナー（PETS）」も中止し、伊藤ガバナーエレクトのセミナー動画を地区ホームページに掲載し、PETSの代替行事といたしました。

4月の緊急事態宣言を受け、国内に自粛ムードが広がり、5月の「地区研修・協議会」もやむなく中止といたしました。この時点で、伊藤年度の「地区大会」は秋開催から2021年4月開催に、公式訪問は7月開始にそれぞれ変更。地区研修・協議会の代替行事として、岩手・宮城での複数の会議の分散開催を計画しましたが、会場側から使用許可が出ず断念。協議会冊子資料をクラブに送付し、伊藤ガバナーエレクトのメッセージ動画を地区ホームページにアップして代替行事といたしました。

7月、いよいよ伊藤ガバナー年度がスタートし、公式訪問を予定通り開始いたしました。コロナの感染状況を考慮し、7・8月は岩手、9・10月は宮城という日程を組みましたが、お陰様で各クラブのご協力のもと、無事全クラブの訪問を終えることができました。心から感謝申し上げます。伊藤ガバナーに同行した幹事団のうち、私も含め7名はこれからクラブ会長になるメンバーでしたので、他のクラブの例会の様子を拝見し事業のお話を伺えたことは、貴重な機会であり、大変勉強になりました。

この頃から、国内の諸会議はZoom等を活用したWeb会議、オンライン会議となっていきます。徐々に、「コロナを正しく恐れ、三密を避け対処する」方向になり、地区としても、各クラブに例会開催ためのコロナ対策のアンケート調査を行い、地区内でシェアしまし

た。また、オンラインでの例会を開催するクラブも出始めました。

地区事業も工夫を凝らして実施していただきました。「地区ロータリー財団セミナー」と「4委員会合同セミナー」は、資料や動画を地区ホームページにアップして、セミナーを開催。青少年奉仕委員会は、インターアクト校を対象に「ロータリー重点分野提言レポート」を募集し、その集約レポートをホームページにアップ。参加校には感謝状を贈呈。「RLI研修」は、全セッションをオンラインで開催。また、インターシティ・ミーティング（IM）は、第2・第3・第7分区が開催。実施にご尽力いただいた関係各位に感謝いたします。

中止となりましたが、地区大会のメインプログラムとして、「全8分区から1クラブずつ、計8つの奉仕活動の事例発表」を用意しておりました。コロナ禍で、思ったようにロータリー活動ができない年度だからこそ、「ロータリーの奉仕活動のあるべき姿と公共イメージについて考える機会としてほしい」「各クラブがこれまでの奉仕活動を振り返り見直す年にしてほしい」という伊藤ガバナーの強い想いの企画でした。残念ながら、地区大会は中止となりましたが、この企画をDVDにまとめ伊藤年度の記念事業として全クラブにお送りいたしました。動画制作にご協力いただいた8クラブの皆様は厚く御礼申し上げます。

思うように事業を進められないもどかしい年度ではありましたが、伊藤ガバナーの「中止するのではなく、形は変わってもやれる方法を考えよう」という前向きな考え方に則り行動した一年でした。また、コロナによって、Web活用やオンライン行事など新たな対応を求められた年であり、様々な課題が浮き彫りになった年であったように思います。先が読めない難しい年ではありましたが、地区運営という貴重な経験をさせていただきました。

ホストクラブ花巻南RC、コ・ホストクラブの花巻RC、花巻北RCの花巻3クラブ、そしてガバナー事務所スタッフで力を合わせ、伊藤ガバナー年度を進めてまいりましたが、お陰様で、年度を終えることができました。地区ロータリアンの皆様のご理解とご協力、そしてご指導に心より感謝申し上げます。そして、花巻3RC、スタッフの皆様は深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

副代表幹事 照井 敬孝 (花巻南 RC)

伊藤ガバナーエレクト年度となった2年前、私たちは菊池代表幹事のもとで準備を始めました。副代表幹事を務めることになりましたが、クラブ会長の経験もなく、エレクト年度の行事に参加することに不安が広がったのを思い出します。

そして、いよいよ昨年7月にガバナー年度となり、公式訪問がスタートしました。昼・夜合わせて7日間、ガバナー公式訪問に同行。会長・幹事会と例会に出席し、それぞれの奉仕活動を伺う度、新しい発見がありました。唯、コロナ禍により、会議や研修会、大会等の諸行事が中止又はWebに変更になったことは、いろいろ準備をしていただけに非常に残念でした。改めてロータリーは、膝を交えての親睦が一番だなと感じた次第です。

副代表幹事 照井 正樹 (花巻南 RC)

伊藤智仁ガバナーの幹事団として、副代表幹事の打診を受けたとき、二つ返事で引き受けましたが、自分に務まるだろうかと不安でいっぱいでした。

エレクト事務所が開設され、最初の大きな事業が、地区チーム研修セミナーでした。2020年2月16日に開催され、司会を任された私は、ひどく緊張したことを覚えています。しかし、無事に開催されたのはここまででした。新型コロナウイルスが日本でも拡大し始め、先行き不透明なまま、ガバナー年度のスケジュールが大幅に変更されました。

中でも、伊藤ガバナーの、「中止にするのではなく、やれることを工夫してやろう」という声の下、公式訪問や動画配信など初めての経験をし、ロータリアンとして、また人間として少しは成長できたかなと感じています。

副代表幹事 吉田 和洋 (花巻 RC)

コ・ホストクラブのメンバーではありませんでしたが、副代表幹事、ガバナー月信編集長、ロータリーの友地区代表委員の3職をいただいて、地区や『月信』、『友』誌の運営を知ることができました。

ガバナー事務所は1年ごとに2県を行き来し、HPも1年毎に更新され前年度の情報は消えてしまい、新任の私は不安の中でのスタートでした。しかし、伊藤智仁年度と鈴木俊一年度の代表幹事が協議し、HPの前年度情報の閲覧が可能となったと伺い安堵しています。『友』誌については、2回とも残念ながら東京での全国会合はできず、Zoomでの会合となりましたが、コロナ禍がZoomを知る『機会の扉』となりました。花巻南 RC をホストクラブとしての花巻3クラブでの合同運営も含め貴重な経験ができた一年に感謝です。

副代表幹事 高橋 年徳 (花巻北 RC)

2020-2021年伊藤智仁ガバナー、菊池忠彦代表幹事の下、副代表幹事を拝命し仕事をさせていただきました。

鈴木賢年度より続く新型コロナウイルスの蔓延で、様々な行事が中止、またはリモートでの開催となりました。そんな中でも公式訪問は実施でき、訪問の際に幹事団が撮影した動画の編集を担当しました。私が訪問したのは数カ所でしたが、編集したおかげで、まるで全クラブを訪問したかのように場面を記憶しています。ガバナーのお話は分かりやすく、うなずいて聴いている方も多くいらっしゃいました。また、それぞれのクラブが例会を創意工夫で開催されており、自分のクラブでも参考にできると改めて感じました。ありがとうございました。

総務委員長 嶋 利幸 (花巻南 RC)

ガバナー公式訪問では、宮城、岩手の7ヶ所に同行いたしました。それぞれの会場で、例会中の写真と動画を撮影させて頂きました。その内容はガバナー月信に掲載され、スマートフォンでQRコードをかざせば誰でも動画を視聴できます。もちろん、他のクラブの公式訪問も全て見る事ができます。これまでにない試みだったと思います。

私はRC入会後、他のクラブの例会に参加する機会は殆どありませんでしたが、今回公式訪問に同行し参加させて頂く機会に恵まれ、大変貴重な経験をさせて頂きました。今後のRC活動に活かしていきたいと思っております。皆様大変お世話になりました。

総務副委員長 佐々木 繁樹 (花巻南 RC)

総務副委員長としてサポートが上手く出来たかは疑問ですが、あつという間の一年でした。ガバナー公式訪問に同行し7クラブを訪問いたしました。各クラブの色々な考え方や運営方法、歴史や問題点などを知ることができ、とても良い経験になりました。

また、オンラインでの研修に参加し新しい手法も学びました。コロナ禍で大部分の活動が制限される状況の中で、とても貴重な1年となりました。各位のご協力とご指導に心から感謝申し上げます。

総務委員 渡辺 正乃 (花巻南 RC)

伊藤ガバナーの幹事団の一員として参加させていただきましました。残念ながら、地区大会など、主要な行事を開催する事は出来ませんでした。開催に向けての準備や、代替案の検討、実施などに携わる事で、通常ではできない経験をする事が出来たと思います。

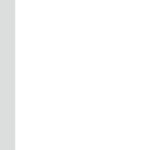
ガバナーの公式訪問は予定通り行われ、県内3クラブ、宮城2クラブに同行いたしました。普段、他のクラブの例会を見る機会がありませんので、段取りや、運営の仕方などクラブ毎に特色があると思ひましたし、会長・幹事会にも同席し、それぞれのクラブの運営方針や、取組み、課題等も知る事が出来、貴重な経験をさせて頂きました。今後のクラブ活動に生かして行きたいと思ひます。訪問先のクラブの皆様ありがとうございました。



新入会員
紹介
(2020-
2021年度)

 盛岡 RC 鈴木 恵子 2021.5.7 入会 火災保険	 盛岡 RC 笠原 謙太郎 2021.5.21 入会 農林銀行	 盛岡北 RC 三上 武美 2021.5.26 入会 鋼構造物工事	 盛岡北 RC 菊地 寛考 2021.5.26 入会 保険代理業	 盛岡北 RC 高橋 貞勝 2021.5.26 入会 保険代理業	 水沢 RC 菅野 祐司 2021.6.26 入会 電気事業	 釜石東 RC 藤原 誠 2021.1.1 入会 自動車販売業	
 古川 RC 小竹 吉也 2021.4.1 入会 損害保険業	 塩釜 RC 近藤 大輔 2021.5.28 入会 電力供給	 仙台 RC 大山 慎介 2021.5.18 入会 中央銀行	 仙台 RC 笠原 秀介 2021.5.18 入会 損害保険	 仙台 RC 中村 浩彰 2021.5.25 入会 旅行斡旋	 仙台 RC 伊東 裕彦 2021.6.22 入会 電気事業	 仙台 RC 杉尾 俊一 2021.6.22 入会 航空運輸	 仙台 RC 成田 由加里 2021.6.22 入会 公認会計士
 仙台 RC 石塚 由紀 2021.6.29 入会 百貨店	 仙台 RC 小野木 貴恵子 2021.6.29 入会 郵便	 仙台北 RC 和田 克幸 2021.6.2 入会 損害保険	 仙台北 RC 西 浩治 2021.6.9 入会 証券業	 仙台北 RC 工藤 俊樹 2021.6.16 入会 情報通信業	 仙台西 RC 藤岡 正行 2021.6.18 入会 空調・衛生設備工事	 仙台西 RC 佐藤 秀樹 2021.6.25 入会 清涼飲料水販売	 大河原 RC 中山 雅之 2021.6.1 入会 生命保険

訃報
謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

 水沢 RC 岩淵 國人 2021年5月17日ご逝去 (享年80歳) 1980年4月入会	 水沢東 RC 高橋 武 2021年5月21日ご逝去 (享年88歳) 1982年6月	 大槌 RC 釜石 稔 2021年6月1日ご逝去 (享年74歳) 2016年4月2日入会		 塩釜 RC 相原 昭壽 2021年6月24日ご逝去 (享年93歳) 1988年1月8日入会	 仙台青葉 RC 伊勢 文雄 2021年6月27日ご逝去 (享年73歳) 1992年2月16日入会	 仙台東 RC 西井 弘 2021年5月25日ご逝去 (享年89歳) 1963年3月11日入会	 白石 RC 四電 均 2021年5月25日ご逝去 (享年72歳) 1984年5月4日入会
---	---	---	--	--	--	--	--

退会会員報告 (2021年6月届出分)

クラブ	氏名	クラブ	氏名	クラブ	氏名	クラブ	氏名	クラブ	氏名	クラブ	氏名
久慈	山王 敏男	北上	今 真也	大船渡西	谷地美枝子	古川	松本 善雄	仙台平成	小島 優	仙台宮城野	澤野 義章
久慈	柴田直太郎	北上	田子さおり	大船渡西	藪 哲之	古川東	早坂 善弥	仙台平成	小松 外治	岩沼	夏井 広行
久慈	神 辰之	北上西	高橋 優子	気仙沼	森 雅志	古川東	山家 稔	仙台平成	森山 正	名取	関谷 正男
久慈	繁名 正人	北上西	平野 周	気仙沼南	千葉 裕一	塩釜	郷家 照夫	仙台平成	村山 裕俊	名取	佐藤 正博
盛岡	赤沢 文彦	水沢	後藤 英昭	気仙沼南	佐藤 修一	塩釜東	砂金 英輝	仙台平成	大江田賢良	亘理	阿部 雄弘
盛岡	石田 亨	水沢東	伊藤 博	釜石	阿部 忠志	多賀城	高井 賢太	仙台平成	及川 光雄	亘理	馬上 昌明
盛岡	星 伸寿	水沢東	梅原 完治	釜石東	新張 英明	多賀城	大槻健太郎	仙台平成	大内 博	亘理	櫻井 隆
盛岡	大久保嘉二	水沢東	及川 欣幸	宮古	斉藤 鉄郎	多賀城	大友 和弘	仙台青葉	成田 敦	亘理	石川 裕一
盛岡	西舘 政美	水沢東	高橋 忠之	宮古東	福士 洋一	利府	高橋 峻	仙台青葉	小原 能和	亘理	刈谷 文俊
盛岡	川村 宗生	一関	松本 剛	石巻南	白井 康文	仙台	浅野 康之	仙台青葉	伊藤 俊明	亘理	阿部 泰典
盛岡南	阿部 和美	大船渡	佐藤 和行	石巻南	高橋 宏治	仙台	濱 功明	仙台冠	松田 好史	亘理	伊藤 喜仁
盛岡東	田中 和裕	大船渡西	阿部 英気	栗駒	若林 洋一	仙台	尾形 衛	仙台インポー	原 高明	亘理	門澤 俊夫
盛岡西北	木下 伸一	大船渡西	荒木 広人	築館	大内 芳博	仙台	鈴木 圭三	仙台インポー	宗像 靖彦	亘理	鈴木 敦
花巻	太田 敬	大船渡西	池田 義弘	佐沼	後藤 益美	仙台	内田 浩二	仙台インポー	鈴木 宏典	角田	谷津 睦夫
花巻南	佐々木盛光	大船渡西	菊地 弘郎	佐沼	村上 武彦	仙台	佐藤 正文	仙台南	千田 恵一	角田	菊池 一成
花巻北	佐々木 豊	大船渡西	管 修一	佐沼	及川長五郎	仙台平成	千葉 直人	仙台南	佐藤 建治	白石北	川田 禎一
花巻北	小西 弓子	大船渡西	田邊 茂昭	佐沼	佐々木 淳	仙台平成	菊地 慎一	仙台北	伊藤 将行	白石北	米沢 和裕
		大船渡西	千田喜一郎	古川	高木 信一	仙台平成	小林 孝男	仙台北	佐々木宏明	大河原	村上 則夫

寄付報告
(5・6月)

■ロータリー財団

寄付分類	所属クラブ	氏名
マルチプル・フェロー	盛岡北 RC	工藤 泰
	佐沼 RC	佐藤 幸一
	白石 RC	志村 浩幸
ポール・ハリス・フェロー	山田 RC	生駒 利治
	白石 RC	清原 憲治
	水沢東 RC	及川 和也

■米山記念奨学会寄付報告

寄付分類	所属クラブ	氏名
米山功労者メジャードナー	仙台 RC	高坂 知節
	仙台東 RC	須藤 泰
米山功労者マルチプル	盛岡滝ノ沢 RC	山口 淑子
	北上西 RC	草野 文夫
	塩釜 RC	亀山 満昭
	仙台北 RC	菅場 久美
米山功労者	佐沼 RC	小野寺 伸浩
	塩釜 RC	伊東 清存
	仙台 RC	岡竹 博昭
米山功労クラブ	仙台 RC	
	仙台北 RC	

第 2520 地区 2020-2021 年度クラブ別会員数

分 区	クラブ名	2020/6/30		年度中異動				増減		2021/6/30	
		会員数(内女性)	入会(内女性)	退会(内女性)	増減(内女性)	増減(内女性)	増減(内女性)	増減(内女性)	会員数(内女性)	会員数(内女性)	
第一分 区	久 慈	27 (1)	1 (0)	4 (0)	-3 (0)	24 (1)					
	二 戸	46 (4)	1 (0)	2 (0)	-1 (0)	45 (4)					
	種 市	19 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (0)					
	盛 岡	75 (0)	8 (1)	14 (0)	-6 (1)	69 (1)					
	盛岡北	39 (3)	7 (0)	5 (0)	2 (0)	41 (3)					
	盛岡西	23 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (1)					
	盛岡南	47 (0)	4 (0)	4 (0)	0 (0)	47 (0)					
	盛岡東	24 (2)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	26 (2)					
	盛岡中央	21 (3)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	22 (3)					
	盛岡西北	47 (4)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	47 (4)					
第二分 区	盛岡滝ノ沢	10 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (4)					
	花 巻	29 (1)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	30 (1)					
	花巻南	35 (0)	0 (0)	3 (0)	-3 (0)	32 (0)					
	花巻北	36 (2)	8 (0)	2 (1)	6 (-1)	42 (1)					
	北 上	38 (3)	1 (1)	2 (1)	-1 (0)	37 (3)					
	北上西	17 (5)	2 (0)	2 (1)	0 (-1)	17 (4)					
	北上和賀	22 (3)	0 (0)	1 (0)	-1 (0)	21 (3)					
	岩谷堂	14 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (0)					
	前 沢	16 (1)	0 (0)	1 (1)	-1 (-1)	15 (0)					
	水 沢	16 (1)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	16 (1)					
第三分 区	水沢東	28 (3)	4 (0)	8 (1)	-4 (-1)	24 (2)					
	花 泉	11 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (3)					
	平 泉	12 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)					
	一 関	18 (1)	0 (0)	2 (0)	-2 (0)	16 (1)					
	一関中央	15 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (4)					
	大 船 渡	32 (1)	4 (1)	2 (0)	2 (1)	34 (2)					
	大船渡西	44 (8)	1 (0)	9 (1)	-8 (-1)	36 (7)					
	陸前高田	18 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (0)					
	千 厩	26 (3)	0 (0)	1 (0)	-1 (0)	25 (3)					
	気仙沼	27 (0)	0 (0)	1 (0)	-1 (0)	26 (0)					
第四分 区	気仙沼南	40 (2)	2 (1)	3 (0)	-1 (1)	39 (3)					
	釜 石	21 (1)	2 (0)	4 (0)	-2 (0)	19 (1)					
	釜石東	28 (2)	1 (0)	2 (0)	-1 (0)	27 (2)					
	大 槌	7 (0)	0 (0)	1 (0)	-1 (0)	6 (0)					
	遠 野	17 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (3)					
	宮 古	30 (4)	4 (0)	2 (0)	2 (0)	32 (4)					
	宮古東	23 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	23 (1)					
	山 田	20 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	20 (2)					
	計	2,160 (121)	180 (18)	220 (9)	-40 (9)	2,120 (130)					

新クラブ設立のお知らせ

国際ロータリーより 2021 年 6 月に仙台奥羽ロータリークラブが認証されました。7 月より第 2520 地区のメンバーとして活動しております。よろしくお祈りします。

仙台奥羽ロータリークラブ

事務所 〒 989-3125 仙台市青葉区下愛子字観音堂 1-1
 電 話 022-399-6876 / FAX 022-399-6877
 会 長 宗像靖彦 / 幹事 林宙紀
 会員数 23 名
 例 会 火曜日 19:00 / (医)総誌会モークシャタウン多目的ホール

お知らせ

仙台平成ロータリークラブは 2021 年 6 月 30 日付で国際ロータリーから脱会しました。

編集後記

2020-21 年度は、地区としまして、各クラブにおきまして、いつもとは相当違う運営をした一年だったと思います。いままで普通にできていたことが、いかに素晴らしいことであったかを改めて感じます。コロナ禍により様々な制限される中で、地区やクラブが進化した一年であったとも言えるのではないのでしょうか。困難な状況の中で、いかにして活動を止めないかを考え、デジタルも駆使しながら新たな様式にチャレンジ。ハイブリッドへの「機会の扉」が開かれた年度でもあったように思います。コロナの終息後、再び

前のスタイルに戻るのではなく、今回の経験を活かし日々進化し続け、時代に合わせて変革していくことも、これからのロータリーの運営には大切なことではないかと思えます。

毎月の月信発刊にあたり、ご多忙の中、執筆いただいた皆様、心から御礼申し上げます。おかげさまで、本 13 号を持ちまして伊藤ガバナー年度の発刊を終了いたします。地区内の皆様、ガバナー事務所・編集スタッフの皆様へ感謝申し上げます。一年間の御礼といたします。ありがとうございました。

月信編集長 吉田 和洋

第一分区	会員数
1 久慈 RC	24
2 二戸 RC	45
3 種市 RC	19
4 盛岡 RC	69
5 盛岡北 RC	41
6 盛岡西 RC	23
7 盛岡南 RC	47
8 盛岡東 RC	26
9 盛岡中央 RC	22
10 盛岡西北 RC	47
11 盛岡滝ノ沢 RC	10

第二分区	会員数
12 花巻 RC	30
13 花巻南 RC	32
14 花巻北 RC	42
15 北上 RC	37
16 北上西 RC	17
17 北上和賀 RC	21
18 岩谷堂 RC	14
19 前沢 RC	15
20 水沢 RC	16
21 水沢東 RC	24

第三分区	会員数
22 花泉 RC	11
23 平泉 RC	12
24 一関 RC	16
25 一関中央 RC	15
26 大船渡 RC	34
27 大船渡西 RC	36
28 陸前高田 RC	18
29 千厩 RC	25
30 気仙沼 RC	26
31 気仙沼南 RC	39

第四分区	会員数
32 釜石 RC	19
33 釜石東 RC	27
34 大槌 RC	6
35 遠野 RC	17
36 宮古 RC	32
37 宮古東 RC	23
38 山田 RC	20

(6月末現在)
会員数合計 2,120

第五分区	会員数
39 石巻東 RC	37
40 石巻西 RC	28
41 石巻南 RC	22
42 栗駒 RC	12
43 築館 RC	19
44 佐沼 RC	46
45 若柳 RC	27

第六分区	会員数
46 古川 RC	41
47 古川東 RC	41
48 岩出山 RC	13
49 加美 RC	15
50 大和 RC	5
51 松島 RC	6
52 塩釜 RC	33
53 塩釜東 RC	10
54 多賀城 RC	30
55 利府 RC	12
56 七ヶ浜 RC	14

第七分区	会員数
57 仙台 RC	118
58 仙台平成 RC	0
59 仙台青葉 RC	53
60 仙台冠 RC	20
61 仙台レインボー RC	10
62 仙台南 RC	43
仙台南-白石R衛星	15
63 仙台北 RC	60
64 仙台東 RC	57
65 仙台西 RC	34
66 仙台泉 RC	50
67 仙台宮城野 RC	25
68 仙台奥羽 RC	23

第八分区	会員数
68 岩沼 RC	33
69 名取 RC	41
70 亘理 RC	6
71 角田 RC	17
72 丸森 RC	17
73 白石 RC	17
74 白石北 RC	8
75 柴田 RC	19
76 村田 RC	14
77 大河原 RC	32

Iwate area

Miyagi area

Rotary District 2520

国際ロータリー第2520地区 2020-2021年度ガバナー事務所
〒020-0034
盛岡市盛岡駅前通1-44 ホテルメトロポリタン盛岡本館4F
TEL : 019-654-0550 FAX : 019-654-0551
E-mail: ri2520@r4.dion.ne.jp

表紙デザインについて

心象スケッチ

最終号

宮沢賢治の作品には季節感のあるものが多く、それはイーハトーブ花巻、もしくは東北の風土と密接にリンクしているのではないだろうか？との推理のもとに、この企画を考えてみた。それが月信の表紙として東北の季節とマッチし、その風景が賢治が描くところの心象スケッチともなれば面白いのではと思った。

さらに現実の賢治自身の行動にもそのヒントがあり、特定の「月」と作品が結びつけばより面白い、との思いから、象徴的な作品とそれをあらすわ写真、さらにその月の賢治カレンダーで構成してみた。これらは苦勞も伴ったが、新たな発見もありとても興味深い作業となった。

本来ならば、そんな風物詩を実際に花巻で味わっていただきたい想いもあったが、折しもコロナ禍に翻弄された一年。だがその中でこそ伝わる賢治さんのメッセージが、あらためて理解出来た。

そしてこの一年間、表紙企画に関しましていくつかの励ましのお便りもいただき、心より御礼を申し上げます。

岩手・花巻が生んだ、童話作家・詩人の宮沢賢治。その作風を育んだイーハトーブの四季折々の風景を、賢治の月毎の出来事とともに紹介します。